



である。

図1において、製品には図1に示す様な波長の電圧が印加され、又は試験により電圧表示が行なわれるが、回路用電圧が低下すると製品Rに、よりリレーに流れる電流が減少し、回路用電流が切断されれば、製品電圧がかかる事、を待つことができるようになつてゐる。

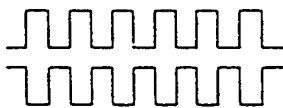
製品にかかる電圧を切断する手段としては上記の波長に減衰されることなく、他の方法例えば、製品回路に交流電圧回路を接続し、回路用電圧が低下して製品に流れる電圧が印加された場合に、これを検出して製品用電流を切断する検出回路を設けても、本発明の効率は減衰せらるゝものである。

以上説明したように本発明にあつては電圧電流で交流電流とし、しかも回路用電圧が低下して、製品に電圧電流が印加されることなく製品の寿命を著しく長くしたものである。

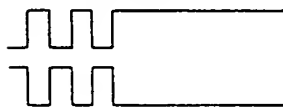
#### 4. 図面の簡単な説明

図1は製品に印加される波長の一例

第1図



第2図



第3図

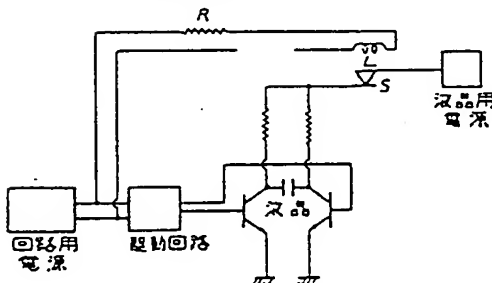


図2は回路用電圧が低下した時に製品に印加される波長の一例

図3は本発明の検出回路を設けた製品の一例、図4の一例を示す。

代理人 内 田 明  
代表人 萩 原 亮

#### 5. 添付書類の目録

- |           |     |
|-----------|-----|
| (1) 明 細 書 | 1 通 |
| (2) 図 面   | 1 通 |
| (3) 委 任 状 | 1 通 |

#### 6. 前記以外の発明者および代理人

##### (1) 発 明 者

住 所 神奈川県横浜市神奈川区三枚町543  
氏 名 飯 田 修 市  
住 所 神奈川県伊勢原市上粕屋349-11  
氏 名 小 坂 常 元  
住 所 神奈川県川崎市中原区上丸子天神町349  
氏 名 北 村 清 雄

##### 出 代 理 人

住 所 東京都港区芝西久保桜川町6番地5号  
第 二 岡 田 ビ ル  
氏 名 弁 理 士 (7284) 萩 原 亮 一